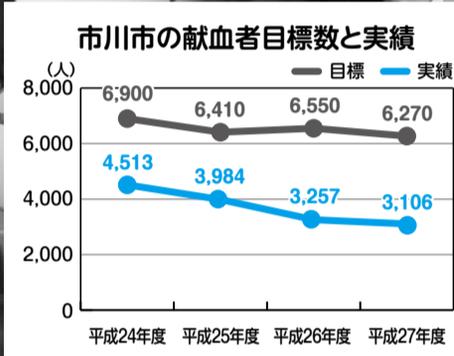
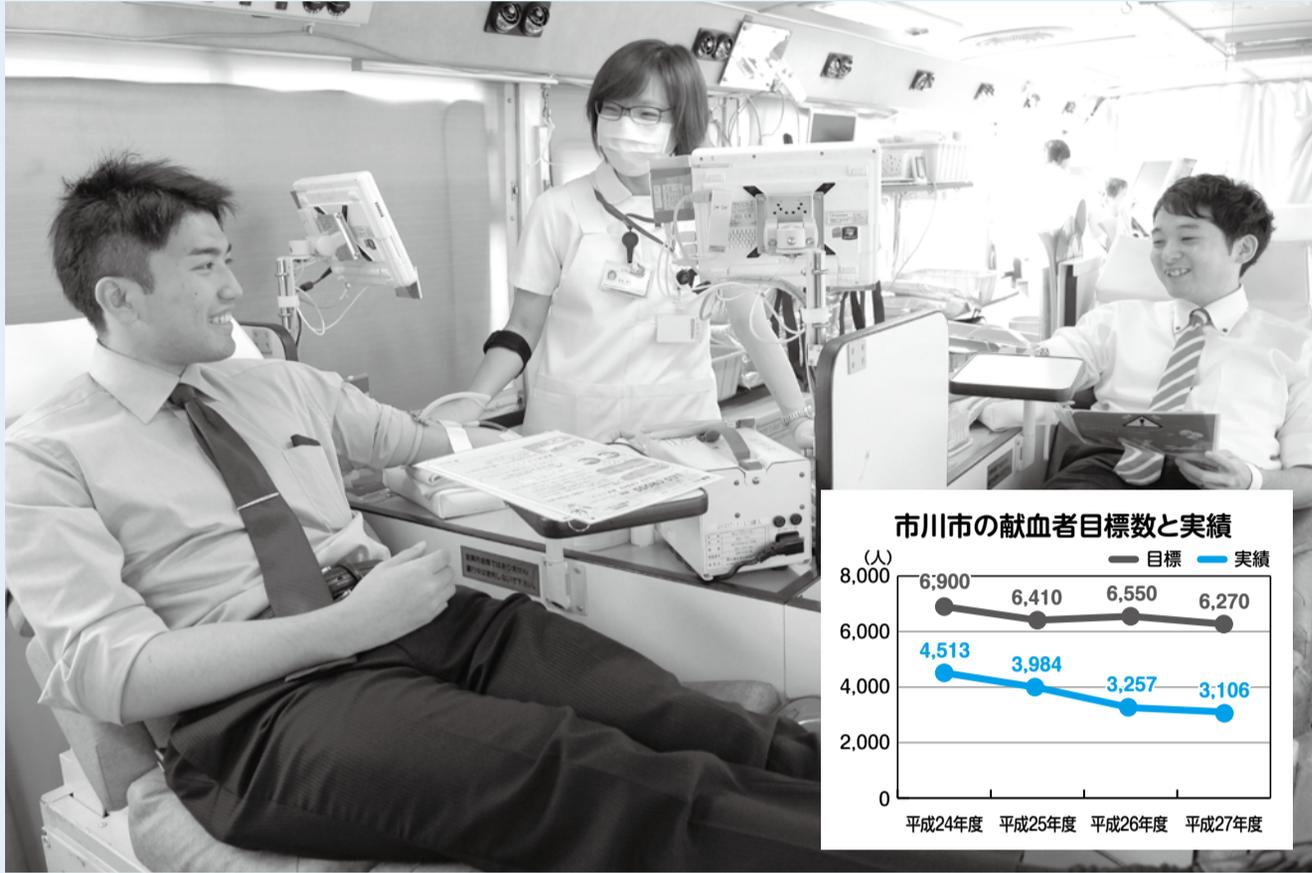


- 市川市下水道条例を一部改正…… 2面
- 税の申告は期間内に…… 3面
- 魅力いっぱいいちかわ野菜…… 4-5面
- 「ジュニアアレッジin高大」に参加しませんか …… 6面
- 北市川スポーツクラブ会員募集 …… 7面
- ごみ処理施設見学ツアー…… 8面

広報いちかわは新聞折り込みでお届けする他、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。



安心して献血するための基礎知識

1. 献血は男女共に16歳からできます

200ミリリットル献血は、16～69歳。400ミリリットル献血は、男性17～69歳、女性18～69歳で男女共に体重50キログラム以上の人です(ただし、65歳以上の人は条件あり)。



2. 40分で助かる命があります

献血にかかる時間は約40分。実際に針を刺している時間は約15分です。



3. 献血への協力が常に必要です

輸血用血液は長期保存をすることができず、成分によっては4日間しか持たないためです。



4. 全国で1日約3千人が輸血を受けています

多量の輸血を必要としている人もいるため、1日約1万5千人の献血協力が必要です。



5. 血液の使い道について

輸血と言えば、「事故などにより出血多量となった人へ」と思われがちですが、実際は「がん」の治療に最も多く使われています。



6. 検査結果を送付します

献血をした人で、希望者には肝炎や糖尿病などに関連する検査結果を送付します。



行徳支所総務課 遠藤 匠

献血をしました

学生のころから献血しています。友達と一緒に行ったので怖くなかったですし、実際に痛くなかったです。血液は、多くの方が必要としているので、みんなで協力して温かい社会になるといいですね。

輸血を受けました

幼い時に多量の輸血を受けました。輸血を受けられたからこそ、今の自分があります。献血は、私が救われたように、多くの方の命を救うために必要なこと。たくさんの方に協力してほしいです。



市内在住 藤原さん

献血のお知らせ

1月23日(月)午前10時～11時45分、午後1時～4時に市役所3階第5-1委員会室において献血を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

献血は、「いのち」を支えるボランティアです。全国的に献血者数は、年々減少しており、本市でも毎年度目標値を下回っています。特に冬期は外出を控える人や体調不良の人が増え、献血者が減少傾向にあります。こうした状況下でも安定した血液の確保が必要のため本市では、千葉県赤十字血液センターと連携し、年間100回以上の献血を駅や市役所などで実施しています。寒さが厳しい時期ですが、献血は誰でもできるボランティア。献血へのご協力をお願いします。

☎047-334-1495 保健医療課